

こんにちは 山田耕平 です

2017.10.12 No.282

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

杉並区議会第三回定例会 決算（H28年度）特別委員会で質疑 区長の反区民的な姿勢 議会軽視が深刻化



決算特別委員会で、区長の政治姿勢、議会軽視の問題点を追及。

議員の一般質問を軽視： 会派を超えて批判の声

現在開会中の決算質疑では、議会と行政の関係性について、度々、問題が指摘されています。今定例会の一般質問では、党派議員の一般質問に対し、まともな答弁が無いのにも関わらず、その翌日に配布された保健福祉委員会資料では答弁では示されない事細かな内容が報告されていました。議員の質問権を蔑ろにする事態であり、杉並区議会議長も問題視。その後の保健福祉委員会で議会軽視の問題を追及すると所管部長が謝罪をしています。他会派の質問に対する答弁でも、同じ質問に対し、会派ごとに答弁内容に差を付けるなど、異常な答弁が相次いでいます。

公園転用の保育園問題 代替公園確保の約束反故

当該年度は公園転用の保育園整備が強行された大きな問題となりましたが、その際「代替公園を確保する」との区の約束が未だに果たされておらず、住民や議会との約束が反故にされていることが明らかとなりました。

この間の異常な答弁等の数々… 職員の健康問題を議会に責任転嫁

区職員の健康問題に関する質疑では、職員の自死が発生していることに触れ、管理職も含め職場での長時間労働の実態を把握し、放置しないことを求めましたが、区長は「仕事の在り方、組織の在り方を考える必要がある」としながら、一方で、年4回（各1日）の議員の質問通告が管理職の負担になっている旨を答弁。職員の健康問題の責任を議会に転嫁するような姿勢に、多くの議員から怒りの声が出されました。

議会のチェックが入りすぎるとものが進まない

この間の区立保育園の民営化について、保護者に配布された議事録には「こういった計画関係というのは、議会のチェックが入り過ぎてしまうとものが進まなくなってしまう」という内容が示されており、会派の違いを超え、問題視する声が相次ぎました。

区長が謝罪するも形だけ： 緊張感のある関係が必要

決算質疑では、この間の一連の議会対応や反区民的な区政運営の問題点を指摘、区長の政治姿勢、議会軽視の実態を厳しく追及しました。

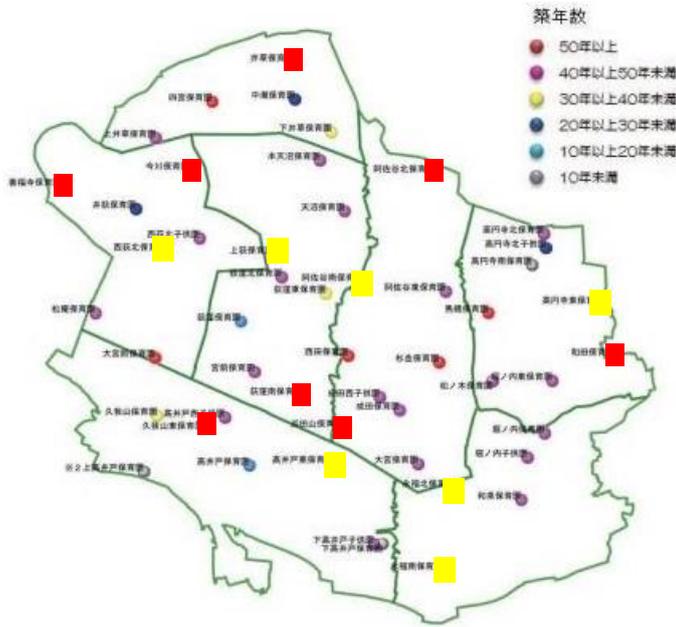
区長は「不手際については反省する」と答弁し、自らの政治姿勢の問題を一部認めました。一方、その答弁以降の質疑においても不適切な答弁（先の区長選挙の対立候補に関わる内容）が繰り返されており、異常な態度は改められていません。

本来、行政と議会は二元代表制のもと、お互いに緊張感のある関わりが求められています。区長の政治姿勢の問題点は今後も厳しく追及します。

H32年度～36年度の5年間で新たに6園を民営化

公立保育園の大規模民営化方針が示される

公立保育園の配置図



当面、公立保育園として運営される見込みの園

現在の障害児指定園 8園

久我山東、荻窪南、井草、阿佐谷北、善福寺、和田、浜田山、今川

新たな障害児指定園（候補） 7園

高円寺東、阿佐谷南、永福南、永福北、高井戸東、西荻北、上荻

中核園と障害児指定園を除く全園が対象

区議会第3回定例会では「保育のあり方検討部会報告」に基づく公立保育園の大規模な民営化方針が示されました。

杉並区内には44の公立保育園がありますが、中核園（7園域に2園ずつ、今後指定）と障害児指定園15園（現在8園、今後7園追加）を除く全ての公立保育園が民営化対象園となります。中核園と障害児指定園は同一園となる可能性もあり、今後、公立保育園の多くが民営化されることとなります。計画ではH32年度～36年度の5年間で6園が民営化され、それ以降の民営化園はH34年度までに決定されます。今定例会では、H32年度に井荻・中瀬の両園が民営化されることが示されました。

公立保育園は「保育の質」の基準維持・存続を

昨今、民間運営の新設認可保育所が増大し、保育の質に大きな格差が生じています。公立保育園は区内の「保育の質」の基準となっています。公立保育園の役割はますます重要であり、民営化方針は重大な問題です。

育メン日誌

子ども神輿 兄妹で活躍！

地元町内のお神輿が行なわれました。この間、議会等で多忙を極め、子どもと過ごす時間が取れていません。寂しい思いをさせていたため、子ども神輿に子どもたちは大喜び。親も驚くほどヤル気満々で、一生懸命お神輿を担いでいました。

やけに気合を入れて担いでいると思ったら、お神輿後に配られるお菓子がお目当て（苦笑）。目を輝かせてお菓子を受け取り、ご機嫌な2人でした。



お菓子のプレゼントに大満足の様子。

保育士削減を財政効果…

保育士不足に拍車をかける愚策

区は民営化を進める理由として、保育関連経費が増大しており、民営化による保育士削減を財政効果としています。

今、各自治体で新設の認可保育園が増大する中、保育士不足が深刻化しています。公立保育園の民営化は保育士不足に拍車をかけることにもなりかねません。

他の自治体では、保育士確保が困難な現状を踏まえ、公立保育園の増設（北区：区立保育園4園を新設）や常勤の公立保育士の増員（板橋区：80名の募集）に取り組んでいます。

他の自治体が公立保育士の確保に踏み出す中、杉並区が保育士削減を財政効果とし、民営化を進めることには一切の道理がありません。

■杉並区の公立保育園民営化による保育士削減数

年度	16	17	29	30	31	32	33	34	35	36
民営化				1	1	2		4		
保育士削減数	116			18	13	96				
	合計 243名の公立保育士を削減									